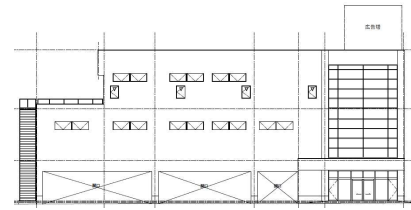


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)でんきち 蔵店 新築工事	階数	地上3F、地下0F
建設地	埼玉県蕨市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	759 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年5月13日
敷地面積	2,494 m <sup>2</sup>	作成者	小川 幸夫
建築面積	1,723 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月16日
延床面積	4,368 m <sup>2</sup>	確認者	小川 幸夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ (30%) ☆☆☆☆☆ (60%) ☆☆☆☆☆ (80%) ☆☆☆☆☆ (100%) ☆☆☆☆☆ (100%超)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	99%
③上記+②以外の	99%
④上記+	99%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.9

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.0

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.6

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 2.3

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.9

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	サービス性能(心理性、ゆとり)に配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を使用し、また建物内禁煙とすることにより健康に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を発生させていない。
Q2 サービス性能	売場の天井高=3.6m以上、階高=3.9m以上、壁長さ比率=0.13とし、ゆとりある空間としている。	
LR2 資源・マテリアル	ALC+LGS+仕上より、躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)でんきち蔵店 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>配慮項目</b>										
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.37</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.6</b>	0.15	-	-	<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.4</b>	0.35	-	-	<b>2.4</b>
2.1 室温制御						<b>2.6</b>	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.46	-	-	
2 外皮性能						1.0	0.19	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.35	-	-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.51	-	-	
1 昼光率						-	-	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御						-	-	-	-	
3.3 照度						-	-	-	-	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.49	-	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.7</b>	0.25	-	-	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を使用(諸表 外部仕上表参照)				4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						<b>4.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		館内禁煙(各階平面図参照)				5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.7</b>	0.40	-	-	<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>2.6</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		売場の天井高3.6m以上(矩計図(1)参照)				5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33	-	-	
3 内装計画						1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:B、汚水排水:B、消火:Cの配管を使用(補助資料参照)				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>2.6</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30		-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30		-	-	
1 階高のゆとり	階高=3.9m以上(矩計図(1)参照)		5.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.13(2階平面図参照)		4.0	0.40		-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.33		-	-	<b>1.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30		-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>1.0</b>	0.40		-	-	<b>1.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30		-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	-	<b>2.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	-	<b>2.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-		-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.13		-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.99		<b>2.0</b>	0.63		-	-	<b>2.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25		-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20		-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水			<b>1.0</b>	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.1</b>	0.60		-	-	<b>3.1</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	ALC+LGS+仕上(内部仕上表参照)		4.0	0.20		-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	-	<b>2.8</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33		-	-	<b>3.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33		-	-	<b>2.9</b>
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない		<b>5.0</b>	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33		-	-	<b>2.7</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-		-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			<b>1.6</b>	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)でんきち 蕨店 新築工事	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=	5.0	
3.0	+	2.0				
重点項目の各スコアの合計点						
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 			

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して99%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 日陰を設け暑熱環境を緩和している。			

:入力欄